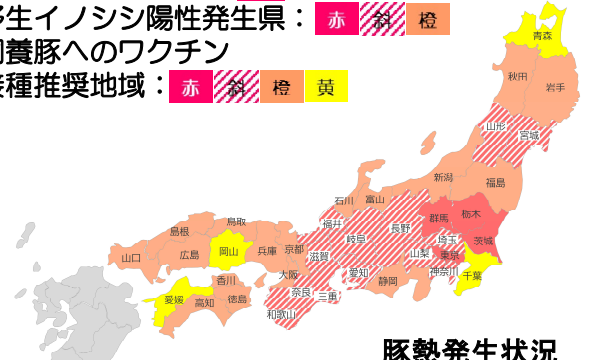


令和5年度豚熱等病性鑑定研修会を開催

2018年の岐阜県での豚熱が発生して以降、飼養豚では86事例確認され、野生イノシシでの感染も拡大しています。

発生都府県では飼養豚へのワクチン接種をはじめとしたまん延防止対策を実施しているところですが、九州においては、現在、飼養豚及び野生イノシシの検査において清浄性が確認されている状況です。

飼養豚陽性発生県：赤斜 (斜線部はR4以降発生無し)
野生イノシシ陽性発生県：赤斜橙
飼養豚へのワクチン接種推奨地域：赤斜橙黄



豚熱発生状況

※農林水産省「最近の家畜衛生をめぐる情勢について」より引用

令和5年6月9日、豚熱やその他の疾病の病性鑑定及び初動防疫を適切に実施できるよう、家畜保健衛生所の獣医師職員等を対象とした、豚熱等病性鑑定研修会を開催しました。

午前は関係法令や病性鑑定についての座学を行い、午後は実際に豚を用いて採血等の病性鑑定に必要な技術の習得の他、防疫対応に関する実技を行いました。万が一の際に、迅速な対応ができるよう日々研鑽を積んでいます。



第64回全国家畜保健衛生業績発表会に選出！

令和5年6月22日に大分県で開催された第64回九州・沖縄ブロック家畜保健衛生業績発表会において、当家保から下記の2題を発表しました。

- ①飼養豚への豚熱ワクチン接種プログラム作成に向けた取組（稲垣俊輔参事）
 - ②熊本県内で発生した前肢帯筋異常症牛の病理解析（島村昇吾主任技師）
- ※2題は、令和4年11月に開催された熊本県家畜保健衛生業績発表会で、12題のうちから選出されたものです。

審査の結果、①の内容が、9月28、29日に東京で開催される第64回全国家畜保健衛生業績発表会の演題として選出され、熊本県代表として発表することになりました。

夏場の死亡牛レンダリング処理及びBSE検査対応について

家畜の死体は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）に基づき、適正に処理しなければならないことから、死亡した家畜は、死亡獣畜処理場（（株）熊本蛋白ミール公社など）に搬入し、適正な処理をお願いします。

夏場は死亡牛が腐敗しやすいため、熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所では7～9月の3ヵ月間について、土曜日の午後も搬入を受け付ける「夏期特別業務」で対応します。

搬入された牛が腐敗していると判断された場合には、月齢に関係なく一律に腐敗牛処理料35,500円が徴収される可能性があります。例年、搬入される腐敗牛のうち約60～70%が夏場に発生していますので、死亡牛が生じた場合には早期の搬入をお願いします。

＜夏期特別業務期間＞：7月1日（土）～9月30日（土）

開業日	休業日
月曜日～土曜日（祝日を除く） 受付時間：午前 8：30～11：30 午後 1：00～3：00	日曜日・祝日 7月17日（月）、8月11日（金）、 8月15日（火）、9月18日（月）、 9月23日（土）は休業です

（株）熊本蛋白ミール公社 TEL：0968-26-3766

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日
高病原性 鳥インフルエンザ （HPAI）	H5N1	ロシア	家きん	令和5年5月12日
		ネパール	家きん	令和5年5月22日

令和5年（2023年）6月30日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

